



平成21年 2月13日

各 位

会社名 株式会社フジコー
代表者名 代表取締役社長 青木 勝治
(JASDAQ・コード3515)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 野添 誉之
電話 072-772-1101

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年12月19日付当社「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
前回予想(A)	11,220	345	365	195	20円00銭
今回予想(B)	10,650	145	130	70	15円00銭
増減額(B-A)	△570	△200	△235	△125	△5円00銭
増減率	△5.1%	△58.0%	△64.4%	△64.1%	△25.0%

(2) 個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	11,100	330	350	185
今回予想(B)	10,500	125	110	55
増減額(B-A)	△600	△205	△240	△130
増減率	△5.4%	△62.1%	△68.6%	△70.3%

2. 修正理由

第4四半期に入り、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の深刻化および我が国経済はもとより世界的な実態経済の悪化は、当初の予想をはるかに上回る状況にあり、当社を取り巻く経営環境につきましても一段と厳しさを増しております。

当第3四半期累計期間の実績および厳しい経営環境が今後とも続くことを勘案し、通期業績予想を修正いたします。

当社グループの自動車資材分野や情報通信資材分野においては更なる減産となるとともに、個人消費の一段の冷え込みにより、建装衣料資材分野も更に減少、当社グループの売上高は前回予想112億20百万円に対し、106億50百万円となります。

一方、損益面では、売上高の更なる減少が大きく影響するとともに円高の進行による輸出採算の悪化により、当社グループの営業利益は前回予想の3億45百万円に対し、1億45百万円となり、経常利益は前回予想の3億65百万円に対し1億30百万円となります。また、当期純利益については前回予想の1億95百万円に対し70百万円となります。

収益力の改善対策として、一段の生産体制の効率化や、新製品の開発によりコスト競争力強化を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

なお、安定的な配当の継続を基本方針とし、当初1株当たりの期末配当金を20円00銭（年間配当金20円00銭）と発表しておりましたが、上記に伴い今回15円00銭（年間配当金15円00銭）と修正させていただきます。

3. 参考：前期の実績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
通期(4/1~3/31)	12,024	799	795	427	24円00銭

以上